

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム新栄

目標達成計画

作成日: 令和 3年 5月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25 48	入居者が出来ること、望むことを職員都合で制限していることがある。	個々の似合った役割を提供して、QOLが向上する。	アセスメントを参考に、一人ひとつ以上の役割を決めて提供する。 入居者の役割の記録を取り、出来ること出来ない事の情報共有を行い、各役割をブラッシュアップする。	12ヶ月
2	36	命令口調になりやすい。	不適切な言葉に対して職員同士で注意し合える環境を作る。	入居者の人生を紐解き、振り返ること でその人の立場を踏まえた言葉遣い を考える。また、介助者の表情、声の トーン、ジェスチャーなどコミュニケー ションスキルを向上する。	12ヶ月
3	53	入居者が自由に移動、活動、休息 のできる動線、環境の工夫をする。	入居者の状態に関係なく、自由にく つろげる空間スペースを確保する。	危険のないようにテーブルやソファの レイアウトを変更して、快適に過ごす 環境を模索する。必要な家具を導入す る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。